

前回懇談会での意見への対応について

平成28年9月6日

国土交通省東北地方整備局

第14回懇談会での意見に対する対応について

意見	対応
費用対効果分析はいつ実施するのか。	『（４）鳴瀬川直轄河川改修事業 事業評価について（資料－９、１０、１１）』で、費用対効果分析を実施した結果をお示ししています。
３案比較を経済性のみで評価しているが、平成27年９月関東・東北豪雨より大きな雨が来れば便益が変わる可能性があるため、大きな雨に対する検討を実施してほしい。	『（２）鳴瀬川水系吉田川における河川整備の効果について（水害リスクの評価（試行））（資料－７）』で、平成27年９月関東・東北豪雨より大きな雨について検討を実施した結果をお示ししています。
B／Cの算定で、将来の維持管理費用も加味して検討願いたい。	『（４）鳴瀬川直轄河川改修事業 事業評価について（資料－９、１０、１１）』で、将来の維持管理費用も加味して検討を実施した結果をお示ししています。
遊水地群の場所について、目途はついているのか。また、代替案比較について詳しく教えてもらいたい。	遊水地群の位置、諸元等については、今後現地測量や調査設計、地元調整等を行った上で、詳細が決まることとなりますが、平成27年９月関東・東北豪雨による浸水状況等を鑑み、概略検討を実施しています。代替案比較については『（３）鳴瀬川水系吉田川上流部における治水対策（案）について（資料－８）』で検討を実施した結果をお示ししています。
筒砂子ダムのロックフィルダムから台形CSGへの型式変更について、地質や環境調査を実施・考慮した上での変更なのか、詳しく教えて頂きたい。	『鳴瀬川総合開発事業について（参考資料－４）』でダム形状がロックフィルダムから台形CSGに変更となった詳細についてお示ししています。